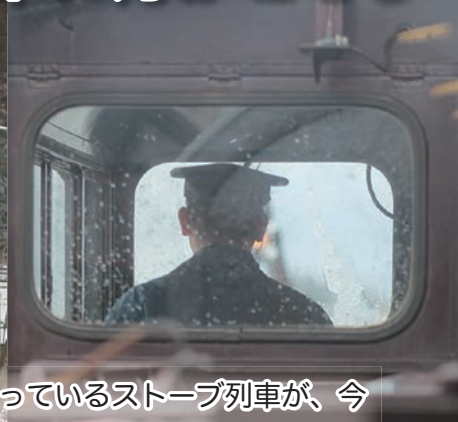




## 冬の風物詩

## ストーブ列車に灯がともる



毎年恒例となっているストーブ列車が、今年も津軽の冬を駆け抜けます。12月1日(出)は、一番列車出発セレモニーが津軽五所川原駅で行われました。三味線演奏会のほか、一般の乗客を交えたテープカットも催されました。ストーブ列車は、昭和5年(1930)の冬から始まり、長年にわたって県内外の多くの人から愛されてきました。そんなストーブ列車を運行する津軽鉄道は、乗車客数が伸び悩み、4月から11月の乗車客数は昨年の同時期に比べて8,997人も少ない状況です。89年という長きにわたって、住民の足として地域を支えてきた津軽鉄道。年末年始や冬休みは、家族や友人と乗車して、レトロな車両でノスタルジックな雰囲気を楽しんでみてはいかがでしょうか。



**【スポットライト】**  
町長トップセールス  
青森人の祭典

**【まちの話題】**  
磯野とし子さん大臣表彰  
こどもり小中設置委 答申  
小泊漁協が海保から感謝状

**【お知らせ】**  
町議会議員選挙  
H30上期財政状況  
除排雪業者の紹介